自然と文化科 箕面公開観察会 活動記録 日時 2016年11月28日(月) 9時30分~15時 担当者 箕面公園 箕面駅~聖天展望台~みのお山荘~~才が原池(昼食) 文:武川雄二 場所 地獄谷~ 姫岩~楓橋~瀧安寺 写真:宮澤富美雄 天候は曇り時々薄日がさす寒い一日 備考 (全体リーダー) 児玉勝久 (各組リーダーと講座生数) 7人 4組 水谷夏子・張間寛一 1組 大森美子・阪上正方 6人 2組 吉川時子・木村忠司 7人 5組 内田きみ子・笹井宏悦 8人 3組 米村倭文子・大釈金呉 7人 6組 村田玲子・武川雄二 7人 (講座生合計42人)

講座生43人の予定だったが、一人減り42人の参加となった。溝部代表の挨拶、児玉全体リーダーの紹介後、 宮澤観察委員会専任幹事から、落ち葉で滑りやすくなっているから下り坂は要注意とのお話あり。9時30分各 組に分かれて出発。

本年度3回目となると、さすがに複数回参加者が多くなる。6組など3回目の参加者が3人もいた。参加回数が多いということはそれだけ植物観察に興味があるということ。本日の期待はなんといっても箕面の紅葉。ところが昨日の雨のため落葉が多く、モミジもやや薄黄色い色が多く、燃えるような紅葉は残念ながら見られなかった。しかし参加者はリーダーの説明に興味津々。ケヤキに始まり、モチツツジの時忘れの花に喜び、カゴノキやリョウブの樹肌のマダラ模様には歓声があがった。アベマキとクヌギの違い、カナメモチの実の色、アカシデの実、イヌガシ、ウラジロガシの葉っぱと説明は続く。

昼食は才が原池だったが、小雨もぱらつき風も吹きとにかく寒い。早々に出発。ダンコウバイ、クロモジの冬芽、ウワミズザクラの落枝痕、そしてカクレミノの葉っぱ。カラスザンショウの大きさにびっくりしたあと地獄谷を注意して下る。幸い事故の報告はなし。コバンノキではリーダーは一生懸命説明するが実も葉っぱもなく聞く方も大変。獅子岩のモミジの景観の良いところで紅葉の仕組みについて説明。そして最後に瀧安寺のボダイジュの実と苞葉の説明。

参加者の一言感想は楽しかった、勉強になった、また参加したいとリーダーへの感謝の言葉のオンパレード。 みなさんご苦労様でした。













箕面公開観察会アンケート集計結果(42人)

- ① 参加回数 初めて:21人 2回目:13人 3回目:7人 4回目:1人
- ② 満足度 <全員> 非常に良かった:29人 良かった:12人 記入なし:1人

<複数回参加者> 良かった:20人 記入なし:1人

③ リーダーの案内、説明についての感想

適当である: 42人

④ 観察コースについての感想

良かった:37人 普通:5人

- ⑤ 意見·感想
- 分からないことを何度も尋ねる時間があり、ゆっくり楽しめました
- ・ 少人数にリーダー2人と、とても贅沢でした
- 植物について+雑学がとても良かったです
- 植物の特徴以外にエピソード等も聞かせていただいて、印象に残って良かった
- 時間の許す限りていねいに説明があった。もっと季節毎の写真があれば良かった
- ・興味の持てる話も入れながらの説明が良かった
- 樹木の冬芽を観ることができた。
- ・声が大きくはっきりして聞きやすかった。質問もまじえた説明もユニークであった
- 同じ木を何回も見て説明されたのが記憶に残ったので、すばらしいコースでした
- ・似た木との違いを分かりやすく説明されて大変良かった。
- 生徒7人のグループということもあり、とても説明が聞きやすく、質問をしやすい良い雰囲気でした
- 実物の種等を持参していただき、より具体的であった
- 前回の参加とはまた違って、紅葉の様子、落葉後の様子等もわかって良かった
- 多種多様の樹木があり、観察時期により樹木の状態が異なり、それぞれの季節の違いが面白いと思った。
- 紅葉の仕組みも教えていただき、紅葉も楽しめて良かった
- 同じ名前のつく木の違いを、良く分かるように説明していただいたので、これから区分できると思います。
- ・コースは適当であるが、昼食の場所が風よけもなく寒かったので、もっと良い場所を捜していただければありがたい
- 解説したパンフレットを頂ければ有難い
- いろいろな季節に参加することで四季の変化が分かり面白い
- ・今回は紅葉が印象に残ったので、紅葉の色々を調べてみようと思いました
- 分かりやすく、植物の特徴と名前がよく一致する説明でよかったです。

以上